

山本正道

京都府生まれの彫刻家。東京藝術大学大学院を修了後、1969 年よりイタリア政府給付留学生としてローマ美術学校に 3 年間留学し、風の彫刻家として名高い、イタリア現代彫刻の巨匠・ファッツィーニに師事する。帰国後、平櫛田中賞など数々の賞を受賞。また、1978 年より 1 年間フルブライト芸術部門交換研究員として渡米。帰国後も京都国立近代美術館賞などさまざまな賞を受賞している。母校、東京藝術大学で教鞭もとった。抽象表現だけでなく、具象表現も得意とし、特に、具象彫刻では、これまでは人物をモチーフにした彫刻が主流であったが、山本は風景やあるいは情景を彫刻で表すという先駆的な表現をしている。イタリア滞在中に出合った遺跡や廃墟、アメリカ滞在中に出合ったネイティブ・アメリカンの遺跡などに感動し、独自の彫刻表現へと昇華させた。